

タイトル	ニール号追悼150年シンポジウム 「ニール号と柏木忠俊」の開催について
担当課	教育部 文化財課 担当：島田 (電話：055-948-1428 内線：2562)

1 開催の目的

市内に関連する歴史を広く周知し、地域で継承するため、シンポジウムを開催し、専門家による講演会を行う。

2 開催要領

日 付：令和6年7月6日（土）
時 間：13時開演（12時30分開場）
場 所：韮山文化センター（韮山時代劇場）大ホール
伊豆の国市四日町772
入 場 料：無料
定 員：300人（申し込み不要・当日先着順）

3 概要

令和6（2024）年はフランス船のニール号が南伊豆沖で沈没してから150年の節目の年となる。ニール号の沈没は乗員86名が犠牲となる悲惨な事故であり、日本政府にとって初めての国交が絡む海難事故であった。

この維新後初の大規模な海難事故に直面した足柄県令・柏木忠俊（韮山出身）と地域の人々はどのように対応したのか、水中遺跡、災害史研究等の視点から地域の人々に継承をしていく。

4 講演内容

来賓挨拶 トマ・ガルサン（日仏会館・フランス国立日本研究所所長）
(Thomas Garcin)
① 講演 『沈没船の水中調査について』
講師：木村 淳（東海大学）
② 講演 『ニール号引き揚げ品について』
講師：横山 梓（東京国立博物館）
③ 講演 『柏木忠俊の対応について』
櫻井 祥行（三島市文化財保護審議会委員）

5 関連事業

本シンポジウムは南伊豆町・東海大学との共催事業であり、7月7日（日）に南伊豆町内でシンポジウム及び追悼の献花を実施する。

6 依頼内容

- ・事前周知と当日の取材をお願いします。
- ・7月7日の献花を取材する場合は、7月2日までに担当に連絡をお願いします。

ニール号追悼 150 年シンポジウム
かしわぎ ただとし
ニール号と柏木忠俊



事故対応にあたった柏木忠俊

令和6（2024）年はフランス船のニール号が南伊豆沖で沈没してから150年の節目の年となる。
乗員86名が犠牲となる悲惨な事故であり、日本政府にとって初めての国交が絡む海難事故であった。
この大規模な海難事故に対応した柏木忠俊と地域の人々はどのように対応したのか。
専門家から地域へ継承していく。

▲ 開催日 / 令和6年7月6日 土

- 時間 / 13時00分～16時30分（開場12時30分）
- 会場 / 伊豆の国市葦山文化センター（葦山時代劇場） 大ホール
- 定員 / 300名（入場無料・当日先着順）

● プログラム

開場

開演・主催者挨拶

趣旨説明

講演① 「沈没船の水中調査について」 木村 淳（東海大学）

講演② 「ニール号引き揚げ品について」 横山 梓（東京国立博物館）

講演③ 「柏木忠俊の対応について」 櫻井 祥行（三島市文化財保護審議会委員）

終了

主催 / 伊豆の国市教育委員会 共催 / 南伊豆町・東海大学
後援 / 南伊豆町教育委員会

問合せ先（伊豆の国市文化財課）
TEL：055-948-1428